

晴れの受章、おめでとうございます

秋の叙勲・褒章



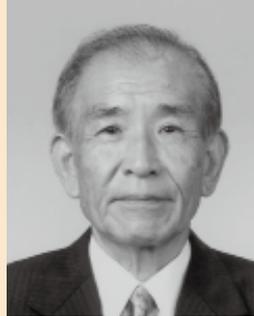
旭日双光章

【母子福祉功労】

久郷 美智子 さん

(上江釣子・77歳)

岩手県母子寡婦福祉協会員として23年にわたり、全国に先駆けて母子寡婦福祉の向上に尽力。全県で母子家庭の医療費10割給付の実現や、平成14年に会長に就任後、職業安定所と協力して就業紹介事業を実施するなど母子家庭の自立と生活基盤の確立に寄与しました。後輩には「やると決めたことは、辛抱強くあきらめずに取り組んでほしい」と話していました。



瑞宝双光章

【教育功労】

菊池 修 さん

(上野町・76歳)

昭和34年に教員の道へ。以来、38年間現場と県教委事務所など行政が半々。教育は「愛と心」と思い子どもと接してきたといい、後輩には「子どもにとっていきがい(行きがい・生きがい)のある学校づくりを」とエールを送ります。受章は「与えられた立場で仕事をこなしただけ。指導や世話してくれた方々を代表して受章したものだと思います」と話していました。



瑞宝単光章

【消防功労】

伊藤 安雄 さん

(滑田・80歳)

昭和25年に江釣子村消防団に入団。以来、61年に同団副団長で退団するまで3年にわたり、地域の防災と住民の安全のために尽力。また、退団後は旧江釣子村と合併後の北上市合わせて9年間協議会議員を務め、消防協議会議員として後輩の活動を支援しました。受章は「先輩や地域の応援と協力、支えてくれた家族のおかげです」と感謝していました。



黄綬褒章

【業務精励(旋盤工)】

藤原 正榮 さん

(和賀町横川目・64歳)

中学校を卒業後、神奈川県企業の訓練所で金属加工を学び、昭和44年に帰郷し谷村電気精機株に入社。以来、退職後も嘱託勤務など同社で40年以上にわたり、金属部品加工分野の技術者として歩んできました。平成22年には普通旋盤の分野で国が選ぶ現代の名工に選出。受章は「同僚など皆さんの支えがあって続けられた」と仲間へ感謝していました。

危険業務従事者叙勲



瑞宝双光章

【消防功労】

小田島 雅夫 さん

(中野町・66歳)

昭和40年に北上市消防士となり、北上市地区消防組合消防本部消防次長で退任する平成18年まで41年にわたり、消防防災業務に精励。消防士となつて間もなく発生した川岸地区の大火では、無我夢中で消火活動に励んだことが今もよみがえるといいます。受章は「うれしさと恥ずかしさが半分ずつ。家族の支えがあったおかげです」と感謝していました。



瑞宝単光章

【防衛功労】

菊地 正雄 さん

(相去町・61歳)

昭和44年5月に陸上自衛隊に入隊。平成17年5月に退官するまで36年にわたり国家防衛など職務に精励。全国各地の台風水害や岩手県内での山火事など災害派遣に計10回出動し、救援復旧活動に尽力しました。受章は、当時の上司や同僚の協力を感謝するとともに、「子育てや家計の切り盛りなど妻には感謝の気持ちでいっぱいです」と喜びを話していました。

市の動き

＝市内放射線測定結果＝

■定定点測定結果(毎週水曜日測定)
10月24日～11月14日(地上1mを測定)
(単位: $\mu\text{Sv}/\text{時}$)

本庁舎屋上	0.05～0.07
黒沢尻西小学校	0.06～0.07
黒岩小学校	0.06～0.08
飯豊学童保育所	0.05～0.06
豎川日運動場	0.03～0.04
江釣子小学校	0.05～0.06
北上総合運動公園	0.06～0.07
照岡小学校※	0.08～0.09
口内小学校※	0.08～0.09

※照岡小学校と口内小学校は7月31日から定点点測定を始めました。

(国が示した学校などの望ましい数値: $1\text{mSv}/\text{年}$)
(県が除染の補助対象とした数値: $1\mu\text{Sv}/\text{時}$)
 1mSv (ミリシーベルト) = $1000\mu\text{Sv}$ (マイクロシーベルト)

◎簡易放射線測定器を貸し出しています

- ▷貸出期間…1日(開庁日の午前9時～午後5時)
- ▷測定内容・範囲…空間放射線量率($\mu\text{Sv}/\text{時}$)・市内に限る
- ▷対象…市内に住所がある個人・団体
- ▷貸出料金…無料
- ▷申し込み…事前に電話で予約。申請用紙と身分証明書のコピーを生活環境課へ

生活環境課 内線 3422～3424

■市内産農産物の放射性物質簡易検査結果(10月分)

延べ100検体を調べました。サトイモなどの野菜、リンゴなどの果樹、ナラタケなどの野生きのこ、その他米などの延べ98検体からは、国の基準値(1kg当たり100ベクレル)を超える放射性セシウムは検出されませんでした。

一部の野生きのこ(2検体)については、100ベクレルを超えましたが、自家消費用であり、流通はしていません。

農政課 内線 5115～5116

※定定点・市内産農産物の測定結果の詳細は、市のホームページに掲載しています。今後も測定を継続し、傾向を確認していきます。



北上市出身者130人が参加して開かれた北上市ふるさと会の集い

北上ふるさと会 発足20周年

首都圏で暮らす北上市の出身者で組織される「北上ふるさと会」(渡邊嘉二郎会長)がスタートして20年。この節目を迎え10月21日、北上ふるさと会の集いは東京ガーデンパレスを会場に開催されました。総会の後、民話研究会が方

言で民話を語り、130人の参加者は懐かしい言葉に笑顔があふれていました。

懇親会では、二子流東京鬼剣舞の舞を鑑賞した後に、北上夜曲の合唱や北上おでんせを踊るなど、この日はふるさと一色に染まっていました。

きたかみ未来創造 会議が提言書提出

公募の市民40人による「きたかみ未来創造会議」は9日、北上市総合計画(2011～20年度)の進捗よく状況に關し市民の視点で行った評価結果をまとめた提言書を高橋市長に提出しました。

この提言書は、総合計画に掲げた83施策ごとに目標の達成に向けた現状を4段階で評価するとともに、目標達成に向けて必要な改善案などを提案。委員を代表して嶽間澤孝一郎さんから提言書を手渡された高橋市長は「今回、初めて市民参加による政策評価に取り組んでいただいた。計画や施策の見直しの際の重要なデータとして利用し、行政経営者会議の評価と比較しながら精度の高い施策を進めていく」とあいさつしました。



高橋市長に提言書を手渡す委員代表の嶽間澤孝一郎さん(左)

秦野市との災害時 相互応援協定を締結

神奈川県秦野市と北上市の災害時相互応援に関する協定書締結式は12日、秦野市役所で行われました。北上市から高橋市長、高橋修消防防災部長など4人、秦野市からは古谷義幸市長や副市長など4人が出席。両市長が協定書に署名、押印して握手を交わしました。



協定後、握手を交わす高橋市長と古谷秦野市長(右)

市内の避難者状況 (10月31日現在)

田野畑村	宮古市	山田町	大槌町	釜石市
1世帯	11世帯	28世帯	79世帯	53世帯
4人	18人	61人	152人	132人
大船渡市	陸前高田市	宮城県	福島県	市内間
17世帯	37世帯	23世帯	21世帯	6世帯
36人	68人	54人	61人	12人

※市で把握している人数です。市内に避難している人で、まだ北上市に連絡していない人はご連絡ください。

遣、ボランティアのあつせんなどの協力や、両市が支援する他の自治体への援助も行うなど12項目にわたり定められたもので、東日本大震災後、秦野市から飲料水や市内避難者用などの自転車73台の提供を受けたことがきっかけで締結したものです。